

第 42 号

発行者  
青少年育成秋田市民会議  
事務局  
秋田市子ども未来センター内  
少年指導センター

〒010-8506  
秋田市東通仲町4番1号  
TEL 018-884-3869  
FAX 018-887-5335

# 青少年やどめ



街頭啓発活動  
11月23日 秋田駅ぽぽろード



会員研修会  
12月16日 秋田市センタース

海底活断層地帯にある日本は東日本大震災の教訓から、即対応できる体制、対応の必要性を打ち合わせていると感ぜられていくが、しかし現場の被災者の声は、食糧・給水・風呂・トイレ・衛生環境等その対応は批判的のようである。

特に被災した子どもたちの生活・就学支援、孤独化させない救援対策などは、どの程度なのか、対応できているのか、心が痛むところである。

世界の若者たちが行動している（F・F・F）を思い起こした。未来に向けた気象危機打開行動である。

2024年元日、能登半島は震度7の地震に見舞われ、家屋の倒壊、浸水、火災延焼等広範囲にわたる大惨事に見舞われた。死者・行方不明者が日毎に増加している現状にある。まずは心からお悔み・お見舞いを申し上げます。



## 「震災…子どもたちの救援対応は」

青少年育成秋田市民会議

会長 遠田 順夫

日本は二酸化炭素の排出量が多い国です。しかし、日本のGX（グリーン・トランスフォーメーション）では、「原発推進と石炭火力の延命策」と批判されておりOEC D（経済協力開発機構）の求める気候変動対策にはほど遠い状況のようです。

世界各地からの警鐘として、アフリカからアジアにかけての広範囲の干ばつ、北米のハリケーンが多発、全世界的な地震・森林火災、日本列島の地震・津波、集中豪雨・大洪水、観測史上最高の猛暑など。全世界の人々は、被災が身近に迫っていることを感じ取り、若者たちの行動・未来を守り続けなければならぬと思っている。

(注) (F・F・F) : Fridays for future

(未来のための金曜日)  
「気象危機打開に向け行動する、世界の若者団体」です。

